



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
 一般日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 小崎繁昭
 編集責任者 蒲池正次、小澤正則、下田勝二、
 山城光俊、及川雅寛、谷口薫、
 高田欽也
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

臨床検査技師による糖尿病予防 Forum 東京・大阪で同時開催!

去る、11月15日(日)、「臨床検査技師による糖尿病予防フォーラム 2009」を、東京・大阪の2会場で開催した。このイベントは、国連が定めた“世界糖尿病デー11月14日”に賛同するかたちで市民向けの講演会を開催、臨床検査・栄養・健康相談、糖尿病関連検査の体験も併せ行った。検査や健康相談を受けた市民は東京・大阪両会場で400名を数えた。

東京会場・・・

東京会場(東京ステーションコンファレンス サピアタワー)では午前10時から、「糖尿病予防」をテーマに患者と臨床医がそれぞれの立場から講演した。

自治医科大学附属さいたま医療センターの臨床検査技師で糖尿病療養指導士の三ツ橋美幸氏は自身の体験談を語られ、10歳の時に1型糖尿病を発症、インスリン注射と血糖自己測定(SMBG)を余儀なくされたことや、当時のインスリン注射や SMBG は煩雑で、痛みもひどいものであったと当時を語った。

糖尿病の合併症の発症・進行を予防(二次予防・三次予防)するために血糖コントロールが基本となること、日常生活で血糖をチェックすることが肝要であり、健康な人と変わらない社会生活を実現する頼もしい助っ人が SMBG であると述べられた。

また測定器の特性の違いや手技により測定値に影響が出てくる場合もあり、使用に当たっての注意点などを説明された。SMBG を有効に活用し、自己管理の質の向上を求めた。糖尿病が他の疾患と異なるのは“自己を管理し、自己で治療していく病気”であると感じているとした。

日本糖尿病学会の門脇孝理事長(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科教授)は、講演の冒頭、世界糖尿病デーの14日、各地で糖尿病の啓発イベントが開かれ、国連のシンボルカラーの青にライトアップが行われたことを紹介された。

現在、日本の糖尿病患者数は890万人、その予備軍を含めると約2210万人と推定され、今や20歳以上の4人に1人が糖尿病またはその予備軍といわれている。

糖尿病治療の目標は、合併症の発症や進展を阻止し、健康寿命を確保することであると述べられた。門脇先生は三ツ橋さんのお話と区別され、2型糖尿病を中心に講演され、2型糖尿病の誘発原因としての生活習慣の変化、またライフスタイルの欧米化が進行し、その結果「生活習慣病」が急増していると話された。

この治療と予防には食事療法と運動の重要性、肥満を防止し健康的な生活を送ること。ご自身の研究から肥満とインスリン感受性ホルモンであるアディポネクチンの存在、その他の遺伝子異常による糖尿病・脂質異常症・肥満症が疑われる場合の遺伝子検査がすすみ、予め予防対策ができる時代になってきていると話された。フロアから糖尿病の診断基準の HbA1c について質問があり、HbA1c を指標とした良好な血糖コントロールの継続が重要であると説明された。

午後1時からは、松岡健平先生(慶應義塾大学医学部客員教授)の司会で「糖尿病療養指導の実際と問題点」と題して、臨床検査技師や薬剤師、管理栄養士、理学療法士、糖尿病看護認定看護師らが参画したパネルディスカッションが行われた。

検査体験コーナーでは、12時開場と同時に整理券を手にした市民100名ほどが SMBG を体験された。

糖尿病療養指導士は SMBG の指導と結果の説明等的確に、に

こやかに、親切に、説明されていた。

また医師による健康相談・糖尿病相談では説明を真剣に受け止め、満足された様子が伺えた。展示・試食・試飲コーナーにも立ち寄り、熱心に健康食品の説明を受け、試食をしている光景が印象的でした。

講演、SMBG 共に好評で、参加者は毎年やって欲しいと言う人が多く、満足げに会場をあとにされた。



大阪会場・・・

大阪会場では、都島慶応義塾大学客員教授、佐藤元大阪市立北市民病院副院長、小宮山大阪鉄道病院技師をお招きし、講演会とパネル討論会を行った。

健康相談体験では、学会の展示会場のようなスペースに、相談コーナー、体験コーナー、健康食品コーナー、検査機器展示を設けました。また、日臨技コーナー、臨床検査技師資格取得相談コーナーも設け、技師を大いに啓発しました。

参加者のアンケート結果は、「臨床検査技師の仕事を理解して頂けましたか?」の質問に対し、理解した64%、少し理解できた26%、余り理解できなかった1%、無回答8%でした。

この事からも、今回の事業は、市民に技師の業務を理解して頂ける機会と実感しました。

当日、各担当して頂きました会員の皆様の感想を紹介します。

◆ 今井(講演会担当) :

フロアからの素朴な質問に対して講師の先生方からいねいな解答があり質問者には十分に満足して頂きました。終了後もなお講師の先生のところへ駆け寄り話しかけている姿もあり、この講演会が非常に有意義なものであったことを強く感じました。

◆ 小宮山(体験担当) :

たくさんの方の市民の方が開場予定時間前からお越しになり、開始を30分前倒しました。

体験コーナーでは、SMBG71名、頸動脈エコー44名、骨密度35名、体脂肪測定20名、ABI48名、フットケア16名、アロマセラピー34名の参加があり、268名の皆様に検査を体験して頂きました。参加された市民からも、「ゆっくり話を聞いてもらえ、とても安心できました」と満足された様子でした。

次ページへ続く・・・

好評連載中 ……検査のはなし…

<中日新聞・東京新聞 毎週金曜日朝刊>

◇ 第 51 回 10 月 30 日

< 寄生虫 - 上 >

痛いアニサキス、内視鏡で摘出

寄生虫は私たちの身近に、たくさん存在しています。まずは、海産魚にひそむ寄生虫について紹介します。

サバ、スルメイカなど 200 種以上の魚には「アニサキス」の幼虫（体長 2~3cm）が寄生していることがあります。刺し身と共にこの幼虫を摂取すると感染します。胃アニサキス症は、食後 2~8 時間程度で強い痛みを訴え、悪心、嘔吐を伴うことがあります。治療薬はないため、内視鏡で摘出します。また、腸アニサキス症では腸閉塞、腸穿孔などと診断され、開腹手術を受けることがあります。感染を予防するには、氷点下 20 度以下で 1 日以上、冷凍します。ホタルイカ、ハタハタ、タラなどの内臓には「旋尾線虫」の幼虫（体長 4~8mm）が寄生していることがあります。とても細く肉眼で見つけることは困難です。幼虫が寄生したホタルイカなどを食べると、数時間から 2 日程度で激しい腹痛、嘔吐などを起こすことがあります。1、2 週間後に腹部の皮膚内に幼虫が現れると、強いかゆみを伴うミミズぶれが起こります。それが不規則に移動することがあります。ホタルイカの内臓を生で食べる場合は、氷点下 30 度で 4 日間以上、冷凍することが大切です。

◇ 第 52 回 11 月 6 日

< 寄生虫 - 中 >

予防には淡水魚の加熱を

今回は、淡水魚を生で食べることによって感染する寄生虫について紹介します。まず、サクラマス、カラフトマスなどサケ属の魚の筋肉には「日本海裂頭条虫」の幼虫（体長 1、2cm）が寄生していることがあります。これを生で食べると、小腸内で成虫になり、全長が 5~10m にも達します。症状は、下痢、腹痛、腹部膨満感などで、個人差があります。

アユ、ウグイ、シラウオなどの魚には、体長 0.15mm ほどの「横川吸虫」の幼虫が寄生していることがあります。成虫でも 1.5mm と小型で、少数の寄生なら症状はありませんが、多数寄生すると腹痛、下痢などを起こします。

コイやフナなど寄生する「肝吸虫」の幼虫は、成虫の体長が 1、2cm 程度。肝臓内の胆管に寄生するために、肝障害などを起こします。これらは検便で診断します。

ドジョウ、ライギョ、ヤマメ、アマゴなどに寄生するのは「顎口虫」の幼虫（約 3mm）。人間の体内では、幼虫のままで皮膚や皮下組織を移動し、炎症を起こします。これらの感染を予防するには、生や不完全な加熱で魚を食べないことが大切です。

◇ 第 53 回 11 月 13 日

< 寄生虫 - 下 >

小腸内で数メートルにも成長

獣肉を生で食べるのも、寄生虫に感染する恐れがあります。

牛の肉、横隔膜などに寄生する「無鉤条虫」の幼虫は、大豆ほどの大きさですが、人の体内に入ると、小腸内で全長 3~7m の成虫になります。腹部不快感、腹痛、下痢などの症状が出ることもあります。

豚の肉、横隔膜、肝臓などに寄生する「有鉤条虫」の幼虫も大豆大で、人の小腸内で 2~5m にも成長します。この虫は、卵を通じて寄生することもあり、腸内でふ化した幼虫が全身に運ばれ、皮下、筋肉、脳、脊髄などに袋を作ると重篤な症状を起こします。豚や羊の肉には「トキソプラズマ」という原虫の塊ができてることがあり、生肉や生ハムなどを通して体内に入ります。猫の便も感染原因となります。無症状のことが多いですが、妊婦の胎盤から胎児に移行すると、水頭症などを引き起こす先天性トキソプラズマ症を発症することが、まれにあります。

寄生虫検査には、便を調べるもの、肛門に特殊なテープを張って調べるもの、血液の免疫反応を調べるものなどがありますが、食生活の中で感染予防を心掛けるのが何より大切です。

次号に続く…

前ページより続く…

◆ 花田(相談・試食担当) :

チームで取り組む特徴を活かし、多職種による専門相談コーナーを併設しました。臨床検査相談 14 名、栄養相談 16 名、運動相談 20 名、未病相談 19 名、CDEJ 相談 10 名の相談を受け、相談に来られた方のなかには、『主治医には聞けないこともわかりやすく教えて頂けた』と仰って頂きました。

◆ 山下、横山(臨床検査相談担当) :

糖尿病の予防や進展阻止の啓発を念頭におき相談を担当しました。当日、SMBG コーナーで血糖値が高かった方やご自身の検査報告書を持参された方などに、検査値の示す意味や解釈などをご説明しました。

相談に来られた方は私たちの説明やアドバイスをとても真剣に受け止めて頂いたように伺えました。今回の事業を通して技師が医療の現場でも職種を活かした検査相談などの役割の必要性を考えさせられる一日でした。

◆ 西垣(受付担当) :

受付ボランティアとして参加させていただき、市民の多くの方々が、糖尿病の検査について関心を持たれている事を実感しました。お爺さんがアンケートを記載される際、字が読みにくいので傍にいた時に、『臨床検査技師の仕事について、良く理解できた』と、言ってもらい嬉しかったです。



【東京会場：五内川里子】

【大阪会場：森嶋祥之】

研修会のお知らせ…



平成 21 年度 臨床検査安全管理者研修会

日 時：平成 22 年 1 月 22 日(金) 9:30~17:00

会 場：大森東急イン

前号<11 月号>にて、研修会プログラムをお知らせしましたが、今回の研修会では初の試みとして、医療事故被害者家族の方から『家族が事故にあった病院で働く決心』と題してお話いただきます。

また、看護師を中心して取り組みが始められた危険予知トレーニング(KYT)について、インシデントレポートから得られるいろいろな情報の活用、採血業務に伴う安全管理と臨床検査技師による針刺し事故解析、薬剤耐性菌による院内感染予防対策を予定しています。平日の開催となりますが、医療安全管理には欠かせない内容のものばかりです。

定員は 130 名を予定しており、定員になり次第締め切りますので、申し込みはお早めに…

詳細は医学検査 11 月号をご覧ください。

医学検査目次訂正のお知らせ

医学検査 11 月号の目次および表紙に欠落がありました。医学検査 12 月号のお知らせページに正誤表を入れましたのでご確認ください。

前号からの続き・・・
裁判員制度に関する資料
裁判員制度に関する世論調査

4) 裁判員裁判への応諾意識

①裁判員裁判への参加意識

裁判員候補者に選ばれたときは、裁判所へ行くことは法律で義務とされており、もし、裁判員候補者に選ばれたら、裁判所へ行くかどうか聞いたところ、「義務であるか否かにかかわらず、行きたいと思う」と答えた者の割合が13.6%、「義務であるから、なるべく行かなければならない」と、思う」と答えた者の割合が57.9%、「義務だとしても、行くつもりはない」と答えた者の割合が25.9%となっている。

都市規模別に見ると、「義務であるから、なるべく行かなければならないと思う」と答えた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「義務であるか否かにかかわらず、行きたいと思う」と答えた者の割合は男性で、「義務であるから、なるべく行かなければならないと思う」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「義務であるか否かにかかわらず、行きたいと思う」と答えた者の割合は20歳代で、「義務であるから、なるべく行かなければならないと思う」と答えた者の割合は20歳代から40歳代で、「義務だとしても、行くつもりはない」と答えた者の割合は60歳代、70歳以上で、それぞれ高くなっている。

◇参加することに対して障害となる事項

裁判員候補に選ばれたら、裁判所へ「義務だとしても、行くつもりはない」と答えた者(532人)に、その理由を聞いたところ、「有罪・無罪などの判断がむずかしそうである」、「自分の判断が被告人の運命に影響するため荷が重い」を挙げた者の割合がそれぞれ46.2%と高く、以下、「裁判の仕組みがわからない」(34.6%)、「専門家の裁判官に向かって意見を言える自信がない」(34.0%)などの順となっている(複数回答、上位4項目)。

都市規模別に見ると、「裁判の仕組みがわからない」を挙げた者の割合は町村で、「専門家の裁判官に向かって意見を言える自信がない」を挙げた者の割合は小都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「有罪・無罪などの判断がむずかしそうである」、「裁判の仕組みがわからない」、「専門家の裁判官に向かって意見を言える自信がない」を挙げた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「自分の判断が被告人の運命に影響するため荷が重v・」を挙げた者の割合は40歳代、50歳代で、「専門家の裁判官に向かって意見を言える自信がない」を挙げた者の割合は50歳代で、

それぞれ高くなっている。

5) 国への要望

①参加意識向上のための方策

国民に進んで裁判に参加してもらうためには、今後、国はどのようなことをすべきだと思うか聞いたところ、「裁判をよりわかりやすくする」を挙げた者の割合が62.5%、「仕事のある人でも裁判に参加しやすくするための環境を整える」を挙げた者の割合が59.3%と高く、以下、「学校での教育」(45.2%)、「育児や介護のある人でも裁判に参加しやすくするための環境を整える」(43.8%)などの順となっている(複数回答、上位4項目)。

都市規模別に見ると、「裁判をよりわかりやすくする」、「学校での教育」、「育児や介護のある人でも裁判に参加しやすくするための環境を整える」を挙げた者の割合は大都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「裁判をよりわかりやすくする」、「育児や介護のある人でも裁判に参加しやすくするための環境を整える」を挙げた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「仕事のある人でも裁判に参加しやすくするための環境を整える」、「育児や介護のある人でも裁判に参加しやすくするための環境を整える」を挙げた者の割合は20歳代から40歳代で、それぞれ高くなっている。

◇効果的な広報の具体的方策

国民に進んで裁判に参加してもらうためには、国は「広報や啓発のための活動」をすべきだと思うと答えた者1561人)に、今後、国は、裁判員制度の意義や内容などを広く国民に周知するため、どのような広報や啓発のための活動をすべきだと思うか聞いたところ、「テレビ・ラジオを利用した広報」を挙げた者の割合が91.6%と最も高く、以下、「新聞・雑誌を利用した広報」(75.8%)、「インターネットを利用した広報」(46.0%)、「講演会や説明会の開催」(39.4%)、「実際の裁判と同じように裁判の体験をする「模擬裁判」の実施」(39.2%)、「公共の場所へのポスターの掲示」(39.0%)、「パンフレットの配布」(38.3%)などの順となっている(複数回答、上位7項目)。

前回の調査結果(平成17年2月調査)と比較してみると、「テレビ・ラジオを利用した広報」(84.5%→91.6%)、「新聞・雑誌を利用した広報」(60.6%→75.8%)、「インターネットを利用した広報」(16.2%→46.0%)、「講演会や説明会の開催」(18.2%→39.4%)、「実際の裁判と同じように裁判の体験をする「模擬裁判」の実施」(19.4%→39.2%)、「公共の場所へのポスターの掲示」(16.3%→39.0%)、「パンフレットの配布」(26.0%→38.3%)を挙げた者の割合が上昇している。

都市規模別に見ると、「新聞・雑誌を

利用した広報」を挙げた者の割合は大都市で、「公共の場所へのポスターの掲示」を挙げた者の割合は町村で、それぞれ高くなっている。

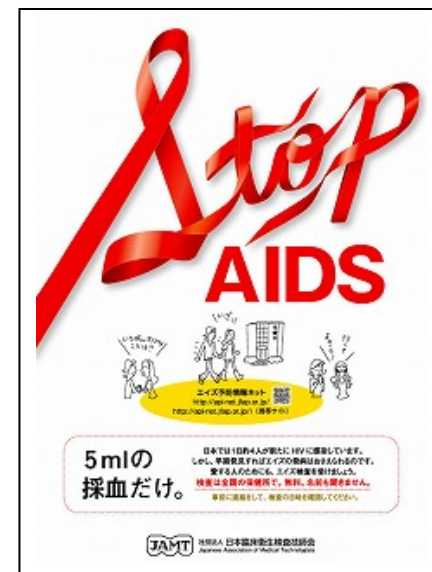
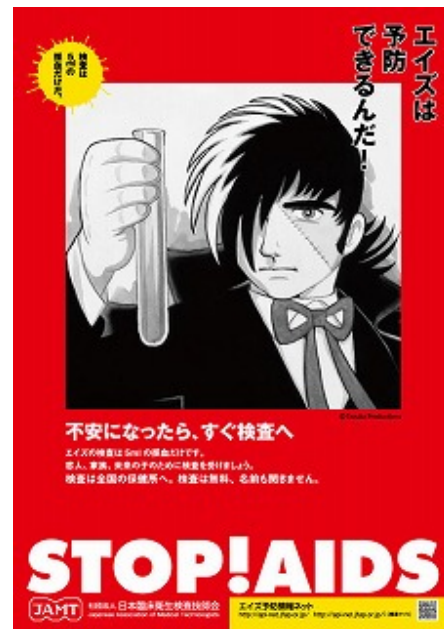
性別に見ると、「インターネットを利用した広報」を挙げた者の割合は男性で、「パンフレットの配布」を挙げた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。年齢別に見ると、「パンフレットの配布」を挙げた者の割合は50歳代で高くなっている。

<了>

エイズ予防啓発事業

平成 21 年度 日臨技エイズ予防啓発事業のポスターに手塚治虫氏の「ブラックジャック・BJ」が啓発キャラクターとして採用されました!

更に、もう 1 種類も日臨技オリジナルです。この 2 種類のポスターは各都道府県医師会に届けられていますのでご活用下さい!



平成 21 年度 都道府県技師会委託事業 「がん制圧・乳がん撲滅」啓発事業 全国展開！

平成 21 年度全国都道府県技師会委託事業である「がん制圧・乳がん撲滅」に関する啓発事業が、9 月～10 月で終了した。

この事業は全国都道府県技師会に日臨技が公益事業を委託(委託金 30 万円)し実施されるもの。

近年、「乳がん」におけるピンクリボン運動、「大腸がん」のブレイブサークル運動など、早期発見、治療を目的とした活動が国民に浸透しつつある。がん疾患では早期発見や治療の経過を知る検査に、大きく臨床検査技師が関わっている事は医療分野では良く知られている事だが、それをより多くの国民に知っていただく事も大切である。

今回、全国 7 地区-36 技師会の受託によりこの事業が展開された。その活動内容としては街頭において、がん検診を呼びかけながらの啓発チラシ、ティッシュ配布、講演会、がん検診、患者、家族、その支援団体などで構成される「リレフォーライフ」への参加、全国統一ピンクリボン運動への参加など幅広い内容である。

この活動を通じ国民へ、がん検診の啓発や、がん治療への情報共有などと共に臨床検査技師の存在を印象づける事が出来た一との報告が受託技師会より多く寄せられた。紙面では各地区 1 技師会の紹介に止めるが、参加技師会、参加会員に感謝とお礼を申し上げる。今後も公益委託事業に対し、ご理解・ご参加をお願いします。 【組織制度部公益事業企画推進委員会】

新潟県

新潟県では 2006 年 10 月に技師会も参加して「新潟はっぴー乳ライフ」が発足し、一般市民へ乳がんの早期発見の大切さや正しい知識を知ってもらう活動を行っています。今年は 10 月 18 日(日)に新潟市の朱鷺メッセで「ピンクリボンホリデー 2009」と題して開催されました。

公開講演やパネルディスカッションの他、ドキュメンタリー映画の上映(余命 1 ヶ月の花嫁)、乳がんに関する医療や看護相談、展示ブースなどが開設されました。若年層から高齢者まで約 500 名の方が来場され、乳がんに関する関心の高さがうかがえました。



当技師会は、初めて無料検査体験ブースを開設しました。血管年齢とストレス度測定を実施し、延べ 550 名という大変多くの方々に臨床検査を体験していただきました。製薬メーカーや他医療団体も展示ブースを出店されていましたが、当技師会だけ長蛇の列ができ、臨床検査の集客力を改めて実感しました。

今後も継続して参画し、一般市民へ臨床検査技師および検査技師会の認知度向上を図りたいと考えます。 【小柳博明】

群馬県

群馬県臨床衛生検査技師会では 10 月 17 日(土曜日)にガン征圧、乳がん撲滅啓発事業と致しまして、伊勢崎市にて午前中に街頭活動、午後には公開講演会を行いました。

街頭活動の場所はベイシア西部モール(ショッピングモール)を選択しました。伊勢崎市は大きな駅が無い為、市内では最も人が集まる所です。ピンク地に黒い文

字で(がんの早期発見は「検査」から)と印刷された幟旗を立て、やはり同文を背中に印刷したピンクのイベントブルズンを着用して行いました。

配布したのは「おっぱいは自分で守る!!」のスローガンで乳がん自己検診の有用性を訴えるものと午後の公開講演を告知するリーフレット、「乳がん撲滅キャンペーン」と題した群臨技オリジナルのポケットティッシュです。中には迷惑そうに受け取りを拒否された方もいましたが、比較的好意的に受け取ってくれた方が多かったように思います。11 人のスタッフで約 1 時間程度の活動でした。

公開講演は伊勢崎市民プラザで行いました。群馬県立がんセンター乳腺科部長、柳田康弘先生をお迎えし「かしこい女性の乳がん講座」の演題で開催致しました。内容は乳がんの病態、検査や治療について、一般の方々にも解りやすい講演でした。また、合わせまして当会理事の永井みゆき氏による「子宮頸がんを無くそう」の講演も致しました。

来場された方々は大変興味深く聞いて下さっていたように思います。講演会の広報としては地元新聞に掲載の依頼、技師会員の各職場及び市内の保健所、健康管理センター等でのポスター掲示も行いましたが、用意した会場には若干空席が目だってしまいました。広報方法の更なる工夫が必要と思われました。



今回の活動で、乳がん撲滅の啓発と臨床検査技師会の存在を市民の人々にアピール出来たと思います。 【新井幸一】

三重県

今回、三重県臨床検査技師会は、日臨技公益委託事業の一環である『乳癌撲滅啓発』に参加いたしましたのでご報告させていただきます。

2009 年 9 月 13 日に三重県の松阪市で開催された健康フェスティバル 2009(一般市民参加者 3800 名)の中で臨床検査技師 50 名が背中に乳癌撲滅を記載したピンクの T シャツを着用し乳癌啓発運動を行いました。



啓発内容としては、リーフレットの配布(乳がんからあなた自身を守るために)とエコー検査機器による画像デモ・乳がんの細胞診像検鏡を実施いたしました。その他にマンモグラフィー像、超音波像、細胞診像の写真展示とスライドを用いての説明も行いました。

さらに、看護師における自己診断の方法と触診の重要性を説明していただき、また、医師相談コーナーも併設し内容を充実することができました。

乳癌撲滅のネーム入り『ピンク T シャツ』を着用したことで注目度および効果は非常に良かったと思う。

啓発リーフレット(500 枚)ペットボトル(200 本)の配布および説明ができ多大な啓発効果があったと考えられる。

一般市民の方々に乳癌の超音波像や細胞診の癌細胞を説明出来たことも収穫であった。今後、臨床検査技師が今以上に社会的貢献ができる事業に参加する必要があると思われる。 【山本幸治】

次ページへ続く...

和歌山県

10・9・8・7・6・5・4・3・2・1・0
ワーと歓声がおこりました。西国 2 番札所紀三井寺仏殿がピンク色に浮かび上がったのです。



アメージンググレイスの曲が流れ shizu さんの歌声でさらに心がピンクに響きました。

和歌山県は世界で初めて乳がんの麻酔手術を行った華岡青洲の生まれ故郷です。今回、ピンクリボン活動を熱心に行っているボランティアグループのピンクリボン運動 in 和歌山実行委員会の方々と協力し合いながら、乳がん撲滅の日臨技公益委託事業を行いました。

10月3日(土)午後より映画「余命1ヶ月の花嫁」を上映しました。この映画は皆さんご存じのように若年性乳がんとの闘い、わずか24歳の若さで他界した長島千恵さんの余命1ヶ月を描いた感動のストーリーです。皆さん目に涙をためていました。続いて、会場を紀三井寺仏殿前に移し、遠く淡路島に沈む夕日のなかでピンクリボン点灯カウントダウンイベントが始まりました。二胡の音色が幻想的につつま、副住職の命の講和で心が満たされ、会場全体が一つになりました。

231段の急な石段を降りて振り返ると、中秋の名月と共にピンク色のリボンが、乳がん早期発見・早期治療撲滅を啓蒙啓発していました。【中村好伸】

岡山県

津山市は県北西部に位置し、今回の市民公開講座は津山市を中心とする近隣地域にも広報を行い開催した。



当日は20歳代から80歳代まで幅広い年代層の市民の方の参加があり、中でも40歳代、50歳代の女性がめだつた。

近年、乳がんは増加傾向を示し死亡率も年々上昇している。乳がん検診の受診率が米国や英国では70~80%と高いのに比べ、日本では20%前後と低いのも実状

であることから、公演中には早期発見、自己検診、検診と言う言葉が随所に聞かれた。日本人女性20人に1人がかかる身近な病気とも言われていることから、月1回の自己検診、年1回の検診を受けることの重要性を市民の皆様へ改めて認識していただけたものと思っている。

今回、厚生労働省より検診対象年齢者に無料クーポン券の配布がなされており、対象者には是非検診を受けていただくことをアナウンスした。【山田啓輔】

徳島県

9月27日(日)、徳島県南部の阿南市で開催された健康まつり会場にて「乳がんの早期発見」と、その講演会についてリーフレットを配り、広報活動をしました。

この健康まつりは毎年行われているもので参加者も多く、たくさんの方が集まるイベントになっています。

10月4日(日)、徳島市「ふれあい健康館」にて市民公開講演会を開催しました。

講演は徳島大学医学部、胸部・内分泌・腫瘍外科の長尾妙子医師にお願いしました。乳がんの早期発見の重要性と自己検診の方法についてわかりやすく説明していただきました。後半は患者の会(あけぼの会徳島)より2名の患者さんに、ご自身の体験から早期発見の重要性と発症後の過ごし方など、経験者ならではの内容でお話しをしていただきました。



講演会に参加した方には、臨床検査技師は超音波検査や血液検査を通じて、ガンの発見、経過観察に重要な情報を提供していること、またガンは他人事ではなく自分のこととして関心を持ち早期発見に努めることが大切であること、などを知っていただくことができました。

【高松典通】

大分県

今回、大分県臨床検査技師会は、日本対がん協会とリレーフォーライフ大分実行委員会が主催する「リレーフォーライフ大分2009」に参加した。このイベントはがんの宣告を受けた患者さんと共にグラウンドを24時間歩き続けることによって、がん患者の24時間の病気との闘いを支援しようというもので、技師会の他、各医療団体、病院、患者団体など58チーム、延べ4,500人がタスキをつないだ。



全国各地で開かれたリレーフォーライフの中で最も大きな大会となった。

私も24時間参加した中で、何人かのがん患者さんと話をした。その中で、がんという病気が患者の人生に与える影響の大きさ、その診断にかかわる我々の責任の重大さを痛感した。臨床検査技師はがんを早期発見し、少しでも多くの患者さんを救う役割を担っている。そのためにも日々研鑽を重ね、努力する必要があると改めて認識したイベントであった。

【境 一】

…拾った話題!…

小さな親切、大きなお世話 自国内で解決できる幸運

最近、産経新聞に作家曾野綾子氏の「小さな親切、大きなお世話」が掲載されていた。日本がありがたい自然環境にあり、周りの殆んど全ての問題が自国内で解決可能とされるが、多くの日本人はそれを考えたことがないという文であった。今、地球規模で環境問題が論じられているが、自国の経済などに左右されて本質の論議には届かないのが現状であろうが、時は否応なしに刻まれているのである。

幾つかを紹介する。

◇ 日本を含む東南アジアで時々激しい夕立に遭うと、サウジやクウェートの人はこれを見ただけで腹がたつだろう。

それらの国は、地下に莫大な石油が眠っていても、降雨量は極めて少ない。野菜は温室ならぬ人口冷室の中に植え、その1本1本の苗の根本に、1滴ずつの真水が垂れるようになっている。水は海水を真水に変える操作が要る。オイルはマネーになるが、人間はオイルを飲んで生きられない。天然の水が供給されることはイスラムの人の概念からいっても天国の境地なのである。

◇ 南アフリカ共和国の北東部にはクルーガー国立公園という長さ320km、幅80kmの野生動物保護区がある。ここは、ジンバブエやモザンビークと国境を接しているが、この隣接した国から難民が流れてゆく。難民は地続きならどこへでも戦火を逃れて移動する。そのため、迷い込んでライオンに食べられる者もいるという。ところで、日本の難民認定数は100人以下で、世界の認識には遠く及ばない。

(社)日本衛生検査所協会渉外委員会主催 平成21年度「医療フォーラム21」

平成 21 年 11 月 16 日(月)午前 12 時より、弘済会館において、(社)日本衛生検査所協会渉外委員会主催平成 21 年度「医療フォーラム 21」が行われた。

渡辺清明氏(日本臨床検査専門医会会長)が座長を務め、シンポジストは奥田 勲氏(厚生労働省医療政策局経済課医療関連サービス室長補佐)、中邨健一郎氏(日本経営システム株式会社執行役員)、藤井多加志氏(株式会社リケン事業管理室長)、相徳正俊氏(株式会社兵庫県臨床検査研究所専務)、高木武夫氏(社団法人日本衛生検査所協会 渉外委員会副委員長)の諸子に加え、当会から町田幸雄(常務理事)が参加した。

同フォーラムは、会議形式で出席者が各々の見解を語り意見交換を行い、フォーラムは非公開とし、後日要約した小冊子を作成し会員等に配布することとした。

テーマは、「衛生検査所の危機管理について」であり、地震等の災害や新型インフルエンザの流行などにより検体検査の受託業務が遂行できない場合や大幅に業務を縮小しなければならない場合、委託元医療機関及び患者に多大な影響を与える恐れがあるため、衛生検査所においてどのような対策を講じる必要があるかについてディスカッションを行った。

議論に先立ち、リスクマネジメントについて中邨氏がコンサルタントの立場として、リスクの分類と対応の考え方、リスクマネジメントの必要性について話題提供があり、ビジネスリスクとしての経営戦略リスク、業務リスク、経営環境リスクについての話があった。

また、その中で、企業としての社会的責任(経営・顧客・社会への影響)、企業価値向上の話があり、医療における検査の重要性について再確認された。

本題に入り、事業継続計画(BCP)について、それぞれの震災体験および BCP ガイドライン策定実績について中邨氏、藤井氏、町田が所感を述べた。

続いて、厚生労働省奥田氏より、厚生労働省のリスク管理体制はどのようになっているのか。医療機関に対するリスク管理の指針についての説明があり、藤井氏、中邨氏は新潟県中越沖地震の体験から学ばれた事と、企業のリスク管理の導入動向についての説明。町田は、臨床検査部門危機管理ガイドライン導入背景について説明をした。

まとめとして、日衛協としての今後のあり方としての BCP 策定ポイント、事業の中断を最小限にして、いかに“事業を継続”するかに重点を置き、通常の防災計画に加えて、事業継続計画を策定するのか!について議論が行われた。議論の中で、終始話題となったのは『人』であり、実体験からも業務継続には人の安全管理が優先されることであった。日臨技

が作成したガイドラインでは、はじめから『人命尊重』が謳われており、出席者から高く評価された。

さらに、座長の渡辺氏から「検査技師会は、検査技師のためにガイドラインを作成した。検査所で働くのも検査技師。なのに、なぜ検査所協会としてガイドラインが作成されていなかったのか。」といった疑問が投げかけられたのが印象的であった。【町田幸雄】

安心で安全な職場確保に

臨床検査技師賠償責任保険 が有効です...

臨床検査技師に関わる事故例

<採血>

◆ 採血ミスで4,000万円請求

市立病院で採血時にミスがあり、左手に障害が残ったとして、飲食店経営の女性(53歳)が、店の休業による逸失利益など約 4,000 万円の損害賠償を市に求める訴訟を起こした。

訴えによると、女性は1995年から月1回、血液検査を受けていたが、2001年9月に担当の臨床検査技師が「血管が見えない」として、従来と違う場所に針を刺した。その結果、採血直後から痛みが続き、左手の指がしびれるようになった。

臨床検査技師はミスを認め、医療費の負担を約束したが、その後のリハビリで症状が改善せず、飲食店の休業を余儀なくされているという。同病院は「訴状を検討し、裁判で当方の主張をしていきたい」としている。

◆ 採血で神経傷つける

2005年、A病院で臨床検査技師が患者の女性(38)の採血をした際、腕の神経を傷つける医療ミスがあり、同病院は、約65万円の賠償金を支払うことを決めた。

A病院によると、同年4月22日、臨床検査技師が採血し、女性は強い痛みを訴えたが、臨床検査技師は採血を続けた。

約1時間後、女性はさらに強い痛みを感じ、病院側に相談。調査の結果、腕の末梢神経を傷つけていた。腕の痛みが残り、握力が低下したという。

<病理組織検査>

◆ 組織検査ミスでがんと誤診

公的病院で2001年1月、40代の男性患者が肺がんと誤診され、左肺の半分を摘出されたことが分かった。

組織検査の検体が混入したのが原因だという。男性は摘出手術の翌月、縫合部に穴が開く合併症のため再手術を受けたが、脳こうそくを併発し、意識不明の状態が続いている。病院側はミスを認め、すでに患者側との示談が成立した。

病院によると、男性はエックス線検査で肺の影を指摘され診察を受けた。内視鏡で肺の腫瘍とみられる部位の細胞片を

採取して検査した結果、肺がんと診断し、腫瘍のあった左肺の下半分を摘出したが、腫瘍は良性だった。同じ目に採取された別の末期がん患者の検体が、男性の検体に混入した可能性が高いことが判明したという。

<細胞診>

◆ がんと誤判定し肺切除

総合病院で2005年9月初旬に患者3人から採取した細胞を検査する際に検体を取り違い、60代の男性を誤って肺がんと判定、右肺の約3分の1を切除する医療ミスが起きた。

男性は既に退院し、手術が必要ない慢性炎症性腫瘍と分かった。同病院は、臨床検査技師が検体に患者識別のシールを張り間違え、確認も怠ったのが原因とみている。外部の専門家を含む事故調査委員会を設置し、原因究明や再発防止策を検討する。

病院長は記者会見で「コンピューター断層写真(CT)検査で肺がんを強く疑わせる所見があり、細胞検査が陰性でも切除が推奨されるケース。しかし経過観察という選択肢もあり、選択の機会を奪うことになった」と謝罪した。

他の2患者のうち、「がんの疑い」とされた1人は手術を受けがんと確定、「良性」の1人は診療に影響なかった。

8月初めに肺がんの疑いで、内視鏡を使い肺の細胞を採取する検査を実施、肺がんを診断し手術したが、病変部が奥深くにあるため手術中の細胞検査はできず、肺の一部を切除。

しかし、切除した組織を検査した結果、がんでないことが分かり、取り違えが判明した。

<心電図検査>

◆ 大学病院で、人工呼吸器のチューブが外れた

2001年5月、臨床検査技師のミスで女性患者=当時(69)=の人工呼吸器のチューブが外れ、呼吸不全で死亡した事故で、業務上過失致死の疑いで男性主治医(41)と臨床検査技師(32)を書類送検した。

調べでは、臨床検査技師が同年5月10日、心電図検査のためにベッドを倒した際、人工呼吸器のチューブが外れた。

主治医は、事故発生後緊急事態に気付きながら、ほかの医師に任せ、2回呼び出されるまで患者の元に駆けつけなかった疑い。同署は、臨床検査技師が看護師から患者に関する引継ぎを怠ったことと、主治医以外では難しい人工呼吸器のチューブの再挿入を主治医が行わなかったなど、過失が重なったために患者が死亡したと判断した。

2人は容疑を認めているという。医療ミスの発覚後、臨床検査技師と主治医は病院を辞めている。

次ページへ続く...

<輸血検査>**◆ 血液取り違え、患者死亡**

町立病院で、食道動脈瘤破裂の大量出血で救急搬送された40代の男性の処置中、誤って検査で不合格となった血液を輸血したと発表した。

男性はまもなく死亡した。副作用防止のため輸血の血液を病院の臨床検査技師が、誤って不適合血液を適合として運び、そのまま使われたという。県警は司法解剖し、死亡との因果関係を調べている。

病院によると、男性は夜、心肺停止状態で搬送された。緊急入院し心肺機能はやや回復したが、輸血開始から約1時間後に脈拍が低下、再び心肺が止まり翌日未明に死亡した。

病院の臨床検査技師が輸血管理システムの設定を誤り、検査結果の「適」「不適」を逆にして伝票に手書きしたのが原因という。検査する職員は通常6人いるが、当時は夜間で1人だけだった。

◆ 名前の確認怠り輸血ミス

市立病院で手術した血液型AB型の50代男性にO型を輸血していたことがわかった。患者の容体は安定し、生命に危険はないという。

病院によると、男性は2004年5月深夜、

大けがをして救急外来に搬送され、手術で1840ミリリットルの輸血を受けた。通常、輸血の際には患者から採取した血液型の検体と、輸血申し入れ書にそれぞれ患者の名前を記入し、確認する。

今回は、隣のベッドにいたO型の60代男性の検体だったのに、輸血申し入れ書と名前の確認を看護師や臨床検査技師が怠った。翌日の朝の点検でミスが判明。病院は家族に謝罪し、警察に届け出た。

◆ 輸血ミス後、患者死亡

2003年、X病院で入院していたAB型の80代男性にA型の成分輸血が行われ、男性が輸血から3日後に死亡していたことが分かった。

同病院は輸血ミス認め、警察署や保健所などに届けたが、死亡との因果関係は薄いとしている。病院によると、男性は9月11日に入院、翌12日、胃・十二指腸かいようによるとみられる下血のため輸血が必要となった。ところが輸血前の血液型判定で臨床検査技師2人が、AB型をA型と誤って判定、13日までA型を成分輸血した。13日午後の血液型の再検査でAB型と判明。輸血ミスによる拒絶反応はなかったが、男性は15日未明、十二指腸かい

ようによる出血性ショックのため死亡した。院長は患者や遺族に謝罪した上で、「再発防止に全力を挙げるとともに、<血液型判定の>実効あるマニュアルをつくり、二度とミスを起こさない」と話している。

「臨床検査技師賠償責任保険(任意加入)」の加入は、年々増加しているが、累積で男性 5,048 人、女性 18,213 人に止まっている。以下の集計は累積数であり、現在の解約者数を含んでいる。加入は、採血業務に就く時点での加入が多くなっている。

| | | |
|---------|----------|------------|
| 24 歳以下 | 男性 239 人 | 女性 1,079 人 |
| 25-29 歳 | 男性 527 人 | 女性 2,618 人 |
| 30-34 歳 | 男性 541 人 | 女性 2,062 人 |
| 35-39 歳 | 男性 564 人 | 女性 1,845 人 |
| 40-44 歳 | 男性 744 人 | 女性 1,586 人 |
| 45-49 歳 | 男性 881 人 | 女性 1,431 人 |
| 50-54 歳 | 男性 828 人 | 女性 1,323 人 |
| 55-59 歳 | 男性 479 人 | 女性 902 人 |
| 60 歳以上 | 男性 245 人 | 女性 320 人 |

※「臨床検査技師賠償責任保険」事務代行会社、(株)メディックプランニングオフィス資料による。

認定心電検査技師、認定一般検査技師 平成 21 年度認定試験 終了!

- ◆ 認定心電技師認定試験が、平成 21 年 10 月 25 日(日)、損保会館で実施された。受験者数は 164 名と昨年より 45 名増加した。受験者の多くは、本年 5 月に日臨技から発刊された「認定心電技師のための心電図の読み方」を持参していたのが印象的であった。
- ◆ 認定一般検査技師試験は、平成 21 年 11 月 15 日(日)に、同じく損保会館で実施された。受験者数は 98 名と昨年と同様であった。
- ◇ 合格者発表は、いずれも、平成 22 年 1 月末~2 月初め頃となる予定である。
- ◆ 認定臨床染色体遺伝子検査師認定試験は、平成 21 年 12 月 6 日(日)、日臨技会館を会場に実施する予定である。受験希望者数は、11 月 9 日現在で染色体分野 2 名、遺伝子分野 4 名となっている。

好評発売中! 「認定心電技師のための 心電図の読み方」

認定心電技師試験に合格された人ばかりではなく、これから試験を受ける人たちのテキストでもあります。ぜひ、購読されて認定試験を受験されることをお勧めします。 **価格:(消費税含む) 5,000 円<会員特価 3,000 円>**

**平成 22 年度
日臨技臨床検査精度管理調査<予告>**

本調査は、日常検査業務に最も即した形で実施しています。また、診療報酬改訂にも対応すべく関連検査の調査形態を変更しています。各施設における精度管理の指標として、参加して下さい。平成 22 年度予算措置を行うにあたり参考にさせていただきようお願いします。

◆ 実施日程<予定>

- ・ 申込書類発送: 平成 22 年 3 月中旬
- ・ 申込締切: 平成 22 年 4 月中旬
- ・ 手引書等発送: 平成 22 年 5 月下旬
- ・ 試料発送: 平成 22 年 6 月上旬
- ・ 報告締切: 平成 22 年 6 月中旬

◆ 実施内容等、詳細は「医学検査」第 59 巻 3 号<3 月号>でご案内します。

※ 尚、今号の「医学検査」に、各部門調査項目の詳細等が紹介されていますので、ご覧下さい。

お知らせ!**MTJ「臨床検査値の基準範囲」設定に向けての対談**

去る、10 月 24 日、細萱精度保障事業部常務理事が山口大学大学院市原清志教授と対談した。

これは、The Medical & Test Journal (じほう社)の新年号企画によるものであり、当会の臨床検査データ標準化事業および基準値設定事業、国際臨床化学連合など 4 団体による、共有基準範囲の設定に関する国際プロジェクト、基準範囲設定にかかる基準母集団の必要条件・測定条件・統計学手法の方法論、設定基準範囲の臨床現場における普及活動の重要性一等、具体的内容におよぶ対談であった。

対談内容については、The Medical & Test Journal<新年号>をご覧ください。

また、国際標準化の動向を考慮し臨床検査における新しい精度マネジメント体系と信頼性の維持・向上のための具体的手順および手法に関する教本として、「臨床検査精度保証教本」の発刊に着手した。大いに期待されることである。

【Information】お知らせ

ひとくち英会話

- ◆ Please keep valuables with you.
→ 貴重品はお持ちになしてください。
- ◆ You can't smoke anywhere in the hospital.
→ 院内は全て禁煙になっています。
- ◆ Please call me if you need my help.
→ 何か御用がありましたらお呼びください。
- ◆ The use of mobile phone is not allowed anywhere in the hospital.
→ 携帯電話は院内では使わないでください。
- ◆ Please use this wheel chair.
→ この車椅子をお使いください。
- ◆ Please call me when you are ready.
→ (検査の)準備ができたなら知らせてくださいね。
- ◆ Visiting hours are from 3:00PM to 8:00PM on weekdays,
→ 面会時間は平日は午後 3 時から 8 時まで、
- ◆ and from 10:00am to 8:00pm on Sundays and holidays.
→ 日・祭日は午前 10 時から午後 8 時までです。
- ◆ All the lights are turned off at 9:00pm.
→ 消灯時間は午後 9 時です。
- ◆ Please be quite after lights are turned off.
→ 消灯後は静かにしてください。

患者さんへの Information
の練習です。 【小松京子】

IFBLS 理事報告

IFBLS 理事会 (Council Meeting) と代表者会議 (CD meeting) 報告

IFBLS 理事会 (Council Meeting) が 11 月 20 日、代表者会議 (Chief Delegate Meeting) が 11 月 21 日・22 日に日本で開催された。議題は、2010 年 6 月 6~10 日ケニア・ナイロビで開催される IFBLS 学会を中心とした今後の学会の打ち合わせと、会の予算や活動予定等に関してである。

下記に情報をコピーするが、まだ流動的である。今後の HP の情報に注目いただきたい。ナイロビでの学会 HP はアフリカの技師会 <www.akmlso>、会議の詳細については <ifbbs2010.org> である。

会議は連日朝から夕方まで時間を惜しんで行われ、世界の代表者たちが自国の臨床検査技師と技師会の現状報告を行い、情報交換を行う場面もあった。日本からは、e-learning の技術を伝え、各国から今後の教育活動に対する新しい method として期待された。今後は各国の expert から教材を集め、世界の臨床検査技師の知識向上の一助としたい。

世界の代表者の日本の印象は、“清潔と安全” である。

英語に関しては、Native English speaker の英語でも、アメリカ人とカナダ人の発音は違いを感じ、インド・韓国・アフリカの代表者たちの発音の違いや、個人差などもあり、英語の communication の難しさを、改めて感じた。また、国民によってはホテルの当日キャンセルの違約金は理解できないらしく (いないのになぜ支払う必要があるのかということらしい)、社会の構造の違いとお国柄の違いによる感覚の差を感じた会議でもあった。

【小松京子】



| カテゴリー | 2010 年 2 月 28 日まで | 2010 年 3 月 1 日から 2010 年 5 月 21 日まで | オンサイト |
|---------------------------|-------------------|---------------------------------------|------------|
| member of IFBLS | 米国 \$ 500 | 米国 \$ 750 | 米国 \$ 800 |
| member of AKMLSO / FEAMLS | 米国 \$ 300 | 米国 \$ 550 | 米国 \$ 600 |
| AKMLSO / speaker | 米国 \$ 250 | 米国 \$ 500 | 米国 \$ 550 |
| student | 米国 \$ 150 | 米国 \$ 300 | 米国 \$ 400 |
| non-member of IFBLS | 米国 \$ 750 | 米国 \$ 1000 | 米国 \$ 1100 |



第 7 回 経営資源 “カネ” I



財務会計

財務会計 (financial accounting) は、財務諸表を核とする会計情報を、企業外部の利害関係者 (株主、債権者、徴税当局など) に対して提供することを目的とする会計である。

会社法や商法、金融商品取引法など、法律の規制に則って実施される財務会計のことは特に制度会計と呼ばれる。

財務諸表の読み方

財務諸表 (ざいむしょひょう、financial statements) は、企業が利害関係者に対して一定期間の経営成績や財務状態等を明らかにするために複式簿記に基づき作成される書類である。一般的には決算書と呼ばれることが多い。

日本の企業会計原則では、貸借対照表 (B/S)・損益計算書 (P/L)・キャッシュ・フロー計算書 (C/F)・株主資本等変動計算書 (S/S) が財務諸表に含まれる。単一企業について作成する財務諸表を個別財務諸表といい、子会社を含む企業グループを単一の組織体とみなして作成する財務諸表を連結財務諸表という。

損益計算書

日本語では「損益計算書」で一貫しており、P/L と略称されることがある。

財務諸表の 1 つである損益計算書は、複式簿記の手続きを経て、財務会計主体の経営成績を表すための書類である。すなわち、ある会計期間に稼いだ収益、かかった費用を比較し、どの程度の利益が出たかを表している。

事業の損益は、単純には、その期のすべての収益からすべての費用を差し引けば求められる。しかし、損益計算書の特徴は、損益の計算を次の 5 段階に分けて行なう点にある。

- <1>売上総利益<2>営業利益<3>経常利益<4>税引前利益
- <5>当期純利益

損益計算書の作成対象となる会計期間は、通常 12 カ月の 1 年間であり、医療法で医療法人の会計年度は、定款または寄附行為に別段の定めがある場合以外は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わるものとされている。

| 損益計算書 | |
|---------------|---------------|
| (一般企業) | (病院) |
| 売上高 | 医療収益 |
| 売上原価 | 医療費用 |
| 売上総利益 | 材料費 |
| | 給与費 |
| | 委託費 |
| 販売費および一般管理費 | 設備維持費 |
| | 研究開発費 |
| | 経費 |
| 営業利益 | 営業利益 |
| 営業外収益 | 医療外収益 |
| 営業外費用 | 医療外費用 |
| 経常利益 | 経常利益 |
| 特別利益 | 臨時収益 |
| 特別損失 | 臨時費用 |
| 税引前当期純利益 | 税引前当期純利益 |
| 法人税、住民税および事業税 | 法人税、住民税および事業税 |
| 法人税調整額 | |
| 当期純利益 | 当期純利益 |

①売上総利益

売上から、販売対象の商品・製品・サービスの原価 (売上原価) を差し引いたものを売上総利益という。

②営業利益

売上総利益から販売費および一般管理費を引いたものが営業利益である。これに相当するのが、病院会計準則では医療収益から医療費用を引くことにより計算される医療利益である。「販売費及び一般管理費」は、(原価か経費かと言う場合の) いわゆる経費であり、販売部門や管理部門などで発生したコストを指す。

③経常利益

営業利益に営業外収益および営業外費用を加減したものが、経常利益であり、病院会計準則では医療利益に医療外収益および医療外費用を加減した後の経常利益に相当する。営業外収益は、その会社の基本的な営業活動以外から生じる収益や費用を指す。代表例は、受取利息や支払利息などの財務活動に関する損益である。

④税引前利益

経常利益に特別利益および特別損失を加減したものが税引前当期純利益であり、特別利益・特別損失は、通常の事業活動以外から発生した収益・損失を指す。病院会計準則では経常利益に臨時収益および臨時費用を加減した税引前当期純利益に相当する。

経常利益から、固定資産売却損益、災害損失などの臨時的な損益項目を加減したものが税引前当期純利益である。

⑤当期純利益

税引前当期純利益から法人税・住民税などの税金を引いた後の残りの利益が当期純利益であり、最終利益とも呼ばれる。

このように、段階的に利益の金額を表示することにより、最終利益を見ただけでは把握できない利益の発生源が把握できることになる。たとえば、当期純利益がとて大きく計上されていても、それは臨時収益として多額の固定資産売却益が計上されていたためで、本業の成果である医療収益および経常収益ではどちらも利益が出ていない可能性もある。

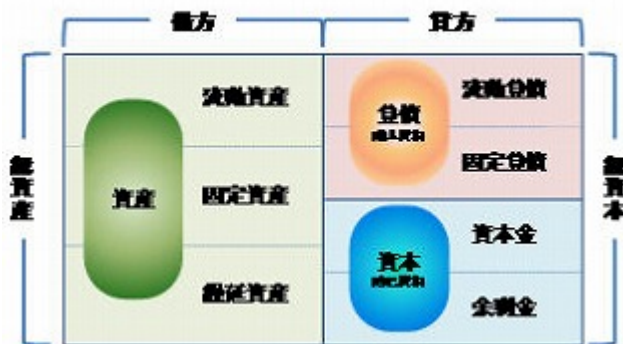
貸借対照表

貸借対照表 (たいしゃくたいしょうひょう) とは、財務諸表の一つ。バランスシート (Balance sheet、略称 B/S) とも呼ばれる。

財務諸表の 1 つである貸借対照表とは、一定時点における企業の財政状態を示す一覧表のこと。バランスシートともいう。企業の「資産」と「負債」「資本」を対照表示することによって、企業の財政状態を明らかにする報告書である。資金の調達源泉と、資金の用途が記されている。

貸借対照表は、資産、負債、資本の分析をすることで、企業の安全性や手元流動性を判断することができる。

貸借対照表



【町田幸雄】

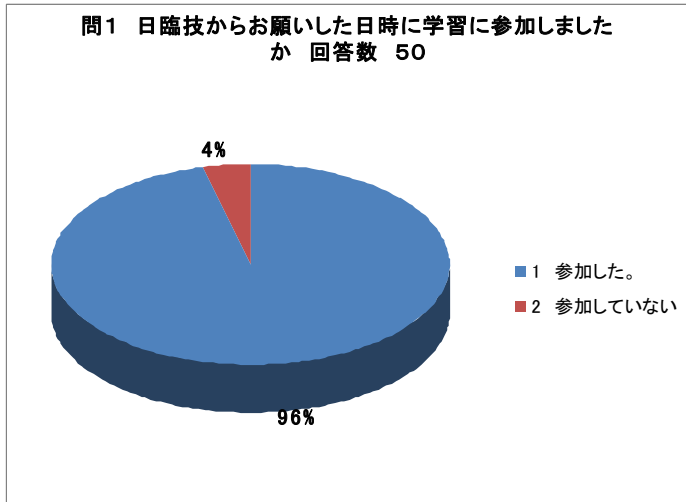
次号につづく...

e-ラーニングに関するアンケート調査結果！

◇ 動作環境に関する質問

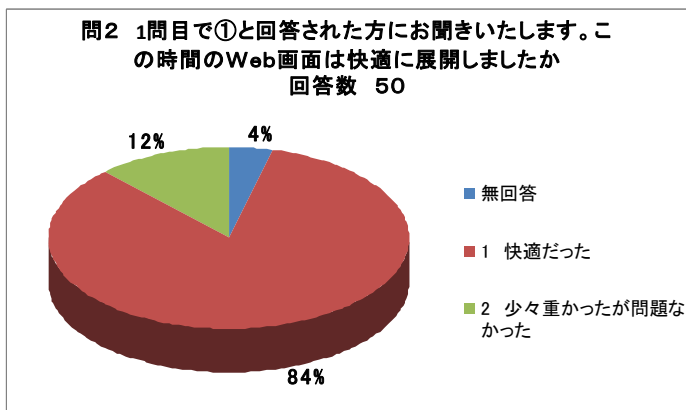
問 1：日臨技からお願いした日時に学習に参加しましたか？

- ① 参加した ② 参加していない



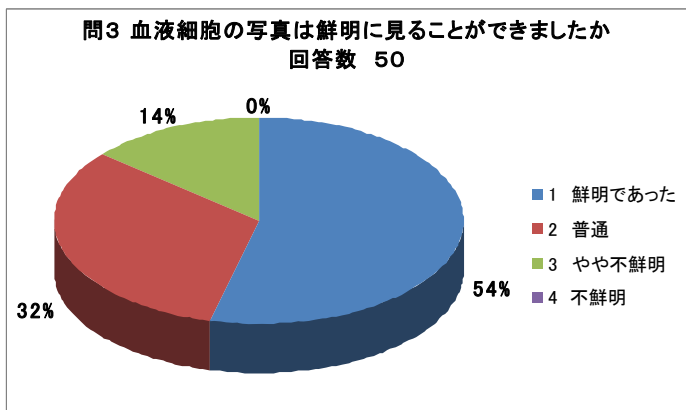
問 2：問 1 で「参加した」と回答された方にお聞きします。

- ① 快適だった
② 少々重かったが問題なかった
③ 展開速度が遅くイライラした



問 3：血液細胞の写真は鮮明に見ることが出来ましたか？

- ① 鮮明であった
② 普通
③ やや不鮮明
④ 不鮮明



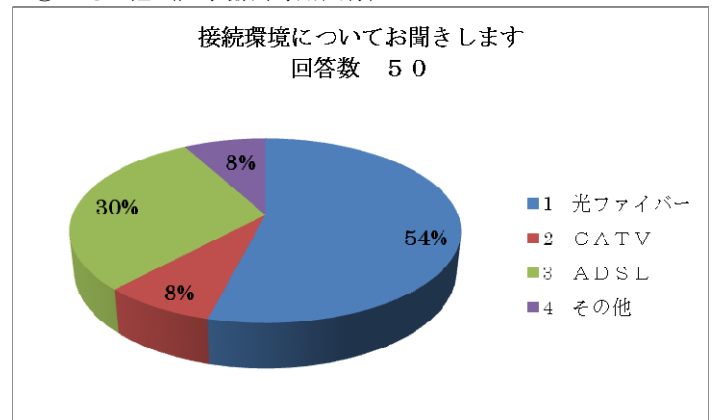
問 4：その他、動作環境で気付いたことがありましたら記入してください。

- 各概略アニメーションの設定時間が文字数が多い画面では STOP ボタンを押して調整すればいいのですが、時間をもう少し長くしてもいいのではないかと思います。(細胞を見ながら解説を読むには時間が短いように思います。)
- 写真を確認しながら回答を選択できたらいいのに、と思った。
- メインページの黄緑色のボタンは見にくい。問題集で写真が 4 枚表示される物は小さく、番号はほぼ見えません。また幼弱など誤字があります。A-Ly の写真問題で核が濃縮しているようには見えませんでした。検査血液学会の標準化で核濃縮は定義に入っていなかったのでは。
- 職場のパソコン Windows2000 (光ファイバー) では問題集・アニメーションが動作しなかった。自宅のパソコン Windows XP(C A T V)では快適に作業が行えた。

◇ 接続環境に関する質問

問 1：接続環境についてお尋ねします。

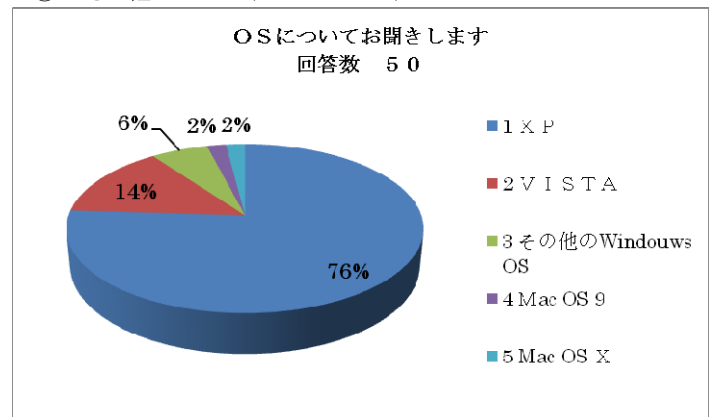
- ① 光ファイバー
② CATV
③ ADSL
④ その他 (医学協会専用回線)



* その他は、無記入および施設回線のために不明

問 2：OS についてお聞きします。

- ① XP
② VISTA
③ その他の Windows OS ()
④ Mac OS 9
⑤ Mac OS X
⑥ その他の OS ()



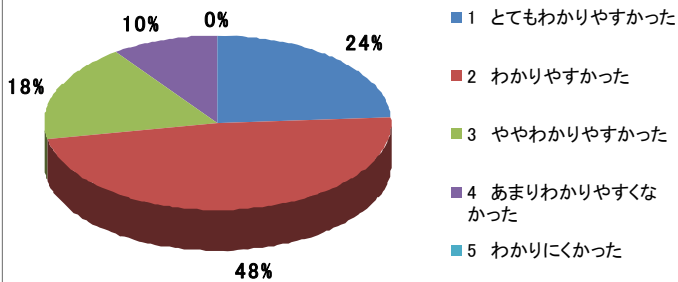
次ページへ続く...

◇「血液像を学ぶ方のためのテキスト」に関する設問作環境に関する質問

問 1：画面構成、内容についてお聞きします。・画面構成はわかりやすかったですか？

- ① とてもわかりやすかった
- ② わかりやすかった
- ③ ややわかりやすかった
- ④ あまりわかりやすくなかった
- ⑤ わかりにくかった

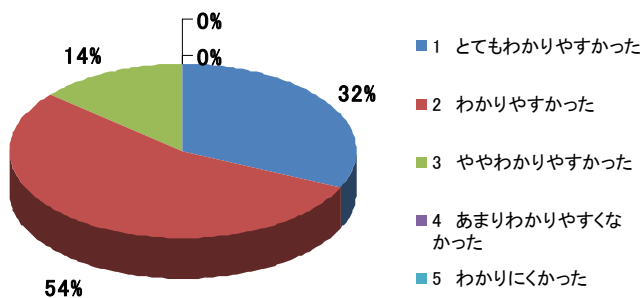
問 1 画面構成、内容についてお聞きします。
画面構成はわかりやすかったですか？
回答数 50



問 2：学習内容はわかり易かったですか？

- ① とてもわかりやすかった
- ② わかりやすかった
- ③ ややわかりやすかった
- ④ あまりわかりやすくなかった
- ⑤ わかりにくかった

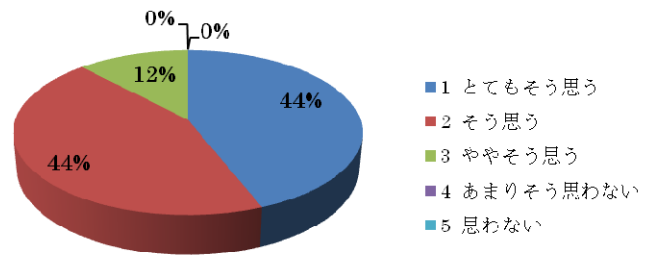
問 2 学習内容はわかり易かったですか？
回答数 50



問 3：また見ようと思えますか？

- ⑥ とてもそう思う
- ⑦ そう思う
- ⑧ ややそう思う
- ⑨ あまりそう思わない
- ⑩ 思わない

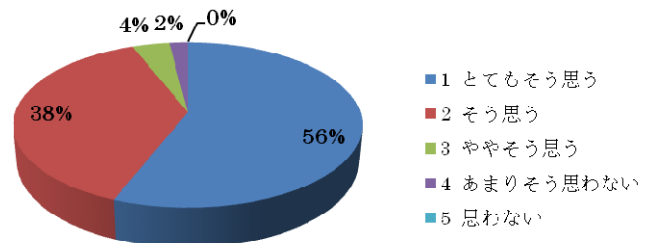
問 3 また見ようと思えますか？
回答数 50



問 4：自分のためになりましたか？

- ① とてもそう思う
- ② そう思う
- ③ ややそう思う
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ 思わない

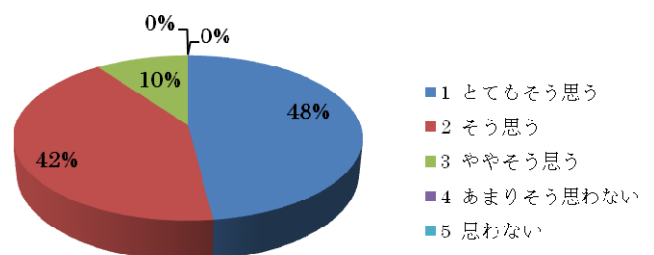
問 4 自分のためになりましたか？
回答数 50



問 5：他の人に勧めますか？

- ① とてもそう思う
- ② そう思う
- ③ ややそう思う
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ 思わない

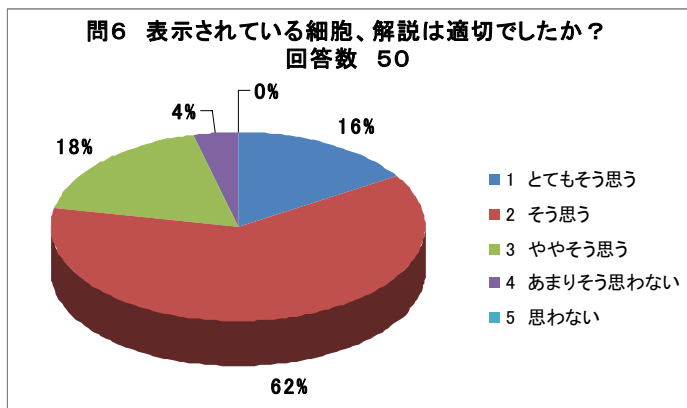
問 5 他の人に勧めますか？
回答数 50



次ページへ続く...

問 6 : 表示されている細胞、解説は適切でしたか？

- ① とてもそう思う
- ② そう思う
- ③ ややそう思う
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ 思わない



◇ その他、テキストについて気付いたことがありましたら記入してください

- 問題と写真が合っていないものが一部ありました。間違えた時の解説が設問に重なって表示されるので、設問や写真を確認しにくく不便でした。
- 後骨髄球・桿状核球・分葉核球の具体的な分類の仕方があればいいのでは？
- 問題集Ⅳの 6 問目が誤った写真でとまどいました。
- 写真がもう少し鮮明だと良いと思います。
- 一部の標本の中で、赤血球が濃い部分のものがあつた。もう少し適した観察場所で出題したほうがいいのでは？
- 設問リストから見たい問題をクリックした後、設問リスト一覧が残ったままで、画像と重なりあってしまう。設問リストから問題をクリックした後、問題移行と同時に設問リストは自動で閉じるようにしたほうがいいのではないかと思います。
- 不正解の時の説明文がわかりづらい。
- たとえば異型 Ly の形態もいろいろあると思いますが、実際この細胞のこういうところが異型にとるポイントでどういう時に出てくるのかというところまで教えてほしい。
- 写真画像が拡大しないものが 4 箇所、違う画像が拡大されるものが 1 箇所および設問に番号がふってあれば分かりやすい箇所が 1 箇所ありました。テスト問題の解説が、間違えなくても見られると有難いです。
- 回答方法についての説明が不十分不親切な気がします。状況がわかった人がつくるとこうなるのでしょうか？テストを進めて行って、初めてわかった回答方法でした。血液学についての説明内容は良かったと思います。
- 骨髄球は核小体ある時もあるようなことを聞いたことがありますが。
- 骨髄系の細胞写真はもう少し大きい方が良い。
- ページが自動更新されるため、じっくり読み取れなかった。手動での更新がよいと思った。
- 問題集に使用されている細胞の写真がテキストにある細胞写真と同じだった。いろいろな写真で出題してもらいたかった。
- テキストは、解説文が横に長くて少し読みにくかったですが、画像がきれいで図説もわかりやすかったです。また、掲示板があり、書き込みできる環境になっていて良いと思いました。
- テストの再度チャレンジした場合の正解番号がシャッフルされるのが非常に良かった。

◇ 今後血液学に関してどのような内容が知りたいですか？ご自由にお書きください。

- 特殊染色の手技、見方、考え方。
- 血液部門から離れていますが、今回のような基本内容は、大変勉強になりました。今後、知りたいのは、最新の情報が知りたいです。染色、遺伝子検査など。
- 新しい WHO 分類の改訂など。
- 日常遭遇する異型リンパ球、異常リンパ球の症例等の写真などをもっと増やしてほしい。判定に戸惑う細胞等の症例等。
- 血液疾患別の全般的な検査結果（細胞、マーカー、生化など）基礎から最新情報まで。
- 日常業務で起こりうる問題の注意点や、症例など。
- 凝固系
- 末梢血（血球数）における病態について勉強ができればと思います。
- 血液形態について、さらにたくさんの細胞（標本）を見たい。日常行う血液学（血球計数検査、凝固・線溶系検査）検査についての実践的な事（トラブル対応）等を知りたい。
- 特殊染色を含めた形態像と疾患の結びつき
- やはり形態学を重点的に学びたい。加えて、凝固検査についても知りたい。
- 病態と関連させて、弱拡で最初にスライドを見たときこう見えるが、ここからのポイントはこうで・・・という流れを知りたいです。
- 表面マーカーの見方。凝固系など。
- 僻地でもあり、なかなか直接指導を受けられないのが悩みでした。どうしても本に頼らざるを得なかったのですが、写真画像で勉強出来て嬉しく思います。本では、微妙な細胞質の感じ等がわかりづらいこともあり、細胞の分類に関して写真を多数お願いできたら最高です。
- 類似する細胞の鑑別点などを詳しく知りたい。その際には別々のスライドではなく、同じスライドで同時に見比べることができるような配慮をいただきたい。
- 症例を読むために関連する形態と臨床情報について。例えば promyelo 一つにしても多くの画像で確認していきたい。
- 血算の異常値から疾患を推測していくような内容はどうか？一つの異常値から、他の部門のデータの異常値を確認していき、疾患にたどり着くような問題があれば、楽しみながら、勉強になるのでは？と思います。もちろん、稀な疾患ではなく、比較的一般的なもので良いと思います。
- 特殊染色を含めた形態像と疾患の結びつき
- やはり形態学を重点的に学びたい。加えて、凝固検査についても知りたい。
- 緊急連絡しなければならぬ症例（血液像）など・・・
- リンパ様異常細胞など
- まずは基礎を充実させて、それから少しずつレベルアップした内容を増やしていけば良いと思います。
- 緊急を要する所見や、血球算定機器により生じる誤差に対する対応方法等が知りたい。
- 臨床側が求める検査技師のコメントの返し方、得られた結果から次に必要な検査の進め方、血液疾患に対する治療方法、など。まずは多くの細胞をみて鑑別できるようになりたいと思います。
- 形態学についての e ラーニングの機会をもっと設けて欲しいです。Stab/seg をはじめ、異型リンパ球・骨髄芽球と赤芽球系の見分け方などの目合わせが e ラーニングを通して出来るといいなと思います。
- 血液画像のいろんな種類のパターン画像を数多く知りたい。

次ページへ続く・・・

- 標本の細胞から疾患に至るまでのプロセス（考え方）を生化学データや表面マーカーをもふまえて教えてほしいです。とくに L y m p h o m a の免疫染色など、教えてください。
- 臨床に伝える必要のある所見とそうでない所見。アーチファクトと見間違いやすい重要な所見など知りたい。
- 疾患ごとに標本、解説があればいいと思います。

◇ 全体を通してのご感想をご自由にお書きください。

- 自分のペースで勉強できてよかったです。基本の内容で、学生時代にしか血液学に触れてなくても、参加でき、復習できました。今後、いろんな部門でこのようなソフトが運用されたら、楽しいだろうと思いました。
- 初級編としては、全体的に簡単で分かりやすい表現でよかったです。
- 参加できて、大変良かったです。ありがとうございます。テキスト外からの問題もありそれらの解説がもっと細かく随時見られたら良いのですが。
- 一度に全部見ようとすると、疲れますね。
- 少し、形態が観づらいつ感じがあった。
- 久しぶりに学生に帰ったようで、とてもおもしろかった。
- 今回の e-ラーニングは血液像だけと思っていましたが、標本の作成方法や、基本的な事もあり、大変よかったです。基本的なことも再確認できました。
- わかりやすくまとめてあったので、これから血液像を学んでいく人にとっては良いものだと思います。また楽しく学習できました。
- とてもわかりやすくとても勉強になりました。いち早く導入しこれからもアクセスして勉強していきたいです。
- 勉強にすごく頑張ったのですが、問題が少し初心者問題にしては難しかったように思います。
- 今回、調査に参加して、一人職場で、地方にいるためなかなか中央の方の勉強会に参加することが難しい環境で、自分の時間設定で手軽に学習できるのは非常に魅力的に感じました。また、テスト形式なのでいつも以上に真剣に学習に取り組むことができ個人的にもスキルがアップしたように感じました。是非、ほかの分野（尿チンサ等）も含め導入してほしいと思います。
- 教科書で勉強するよりもネット環境を利用した勉強は取り組みやすく、楽しく勉強できました。これから認定試験や資格試験対策になるように利用していきたいです。
- とてもよかったです。今後は非導入してほしいと思った。ただ、指定アクセス日に時間がとれずにできなかったのも、いつでもやりたい時間にできるようにしてほしいと思った。
- 回答が正解だったときも解説があればうれしいです。
- 鏡検に不安をいただいているのですが、その矢先に今回の企画を知り参加させていただきました。初心者なので、大変勉強になりました。有難うございました。今後も徐々にステップアップできるように継続して御指導お願いします。
- お忙しい時間をさいて、このような企画をしていただきありがとうございます。勉強させていただいたことで、新たな知識を得ることができ、またもう一度忘れかけたことを確認し直す機会となりました。ただ、残念なのは、最初から一貫して、説明が理解しにくい表現だったと思います。最初の募集時において、この企画の趣旨の不明確さ、調査開始連絡を複数の担当者からの似たような紛らわしいメールの送付（それぞれの人が何をいわんとしているのか、同じことを言っているのかいないのか、いくつものメールを開いたり、閉じたりして、比較しました。）
- 大変勉強になった。自由に OFF 日に勉強できるのでいいシステムだと思う。

- この問題を作成して下さった方々、システムを構築して下さいの方のご苦労は多大なものだと思います。これは、ゲーム感覚で楽しみながら、良い勉強になるシステムだと、感心しております。多くの方に利用してもらえるように、頑張ってください。公開する前には、設問と回答のミスがないかを、今一度確認が必要だと思います。
- Windows 98, Windows Me の OS では、問題文が文字化けしてしまいました。テキストに関しては、内容がとても良くまとまっていて解説もわかり易かったです。ゲームみたいで楽しく学ぶ事が出来ました。ありがとうございました。
- 基礎編も大変勉強になりました。
- 個人情報騒がれている昨今、メール送信は BCC を使うべきでは？
- 基礎的な知識は身につくが、臨床に活かせる内容がもっと欲しい。
- 楽しく学習できました。
- 細胞の特徴がわかりやすく説明されており、間違いやすい細胞との鑑別点も記載されており良かった。
- 勉強会の案内が来てもなかなか時間が取れず行けなかったり遠方のときなどは、このような e-ラーニング形式だと大変助かります。この形式が普及することを期待します。
- 初級問題を正解してパスワードを取得しハイレベル問題へ、と楽しく取り組むことができて良かったです。e-ラーニングは地方にいても学習が出来るので、良い機会を与えていただき感謝します。
- WEB 画面も非常に見やすいですし、内容も素人ですが私から見ると勉強になる教材であると思います。これからも e-ラーニングを続けていただければまた私も続けて利用させていただきたいです。
- どういうふうに進めていけばいいのか、説明がわかりづらかったです。アクセス前に進めてしまいました。
- テキストと同じ写真が問題となっている。特徴ある所見なのでしょうが、少なくとも視野を変えとか少し工夫が必要なのでは。ハイレベル 2 の問題（解答）不良があり、それより先に進まなかった。
- とても参考になりました。誰でもいつでも見られるようにしていただけたらと思います。

<了>

調査にご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。
ありがとうございました。



今月の花

12月の花は“木枯らしに耐えて咲く花—山茶花”です。その学名は、*Camellia sasanqua* といい、わが国特産のツバキ科の花です。花の少ないこの時期に咲く山茶花は、江戸時代から園芸品種が多く作られ、現在では、約300の品種があります。

写真は、日臨技会館の玄関先に咲いており、皆さんをお迎えしています。

環境問題に関する世論調査

内閣府大臣官房政府広報室公表

この調査は、環境問題に関する国民の意識を把握し、今後の参考とするために平成 21 年 6 月に行ったものである。

全国 20 歳以上の男女 3,000 人を対象とし、層化 2 段無作為抽出法にて実施した。有効回収(%)は、男性 60.2%、女性 67.6%であった。

1) 循環型社会に関する意識

(1) ごみの問題への関心

ごみ問題にどの程度関心があるか聞いたところ、「関心がある」とする者の割合が 92.4%(「非常に関心がある」29.0%+「ある程度関心がある」63.5%)、「関心がない」とする者の割合が 7.5%(「あまり関心がない」6.4%+「まったく関心がない」1.1%)となっている。前回の調査結果(平成 13 年 7 月調査)と比較して見ると、「関心がある」(89.8%→92.4%)とする者の割合が上昇している。性別に見ると、「関心がある」とする者の割合は女性で高くなっている。年齢別に見ると、「関心がある」とする者の割合は 60 歳代で高くなっている。

(2) 3R の言葉の認知度

「3R」の言葉の意味を知っているか聞いたところ、「言葉の意味を知っている」と答えた者の割合が 29.7%、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」と答えた者の割合が 23.6%、「聞いたこともない」と答えた者の割合が 45.0%となっている。都市規模別に見ると、「聞いたこともない」と答えた者の割合は小都市で高くなっている。性別に見ると、「言葉の意味を知っている」と答えた者の割合は男性で高くなっている。年齢別に見ると、「言葉の意味を知っている」と答えた者の割合は 20 歳代から 40 歳代で、「聞いたこともない」と答えた者の割合は 60 歳代、70 歳以上で、それぞれ高くなっている。

(3) 普段の暮らしの中でのごみとの関わり方

日頃の暮らしの中で、ごみとどのように関わっているか聞いたところ、「ごみの問題は深刻だとは考えず、多くのものを買ひ、多くのものを捨てている」と答えた者の割合が 1.7%、「ごみの問題は深刻だと思いながらも、多くのものを買ひ、多くのものを捨てている」と答えた者の割合が 10.8%、「ごみの問題は深刻だと考え、多くのものを買ったり、多くのものを捨てたりしてはいないが、ごみを少なくする配慮やリサイクルも実施していない」と答えた者の割合が 19.2%、「ごみの問題は深刻だと考え、ごみを少なくする配慮やリサイクルを多少意識して実施している」と答えた者の割合が 52.2%、「いつも、ごみを少なくする配慮とリサイクルを実施している」と答えた者の割合が 14.9%となっている。都市規模別に見ると、

「いつも、ごみを少なくする配慮とリサイクルを実施している」と答えた者の割合は小都市で高くなっている。性別に見ると、「ごみの問題は深刻だと考え、多くのものを買ったり、多くのものを捨てたりしてはいないが、ごみを少なくする配慮やリサイクルも実施していない」と答えた者の割合は男性で、「ごみの問題は深刻だと考え、ごみを少なくする配慮やリサイクルを多少意識して実施している」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。年齢別に見ると、「ごみの問題は深刻だと思いながらも、多くのものを買ひ、多くのものを捨てている」と答えた者の割合は 20 歳代、30 歳代で、「いつも、ごみを少なくする配慮とリサイクルを実施している」と答えた者の割合は 60 歳代、70 歳以上で、それぞれ高くなっている。

(4) ごみを少なくするためにやっていること

日頃、ごみを少なくするためにやっていることはあるか聞いたところ、「詰め替え製品をよく使う」を挙げた者の割合が 63.3%、「レジ袋をもらわないようにしたり(買い物袋を持参する)、簡易包装を店に求めている」を挙げた者の割合が 62.0%と高く、以下、「すぐに流行遅れになったり飽きたりしそうな不要なものは買わない」(43.6%)、「買いすぎ、作りすぎをせず、生ごみを少なくするなどの料理法(エコクッキング)の実践や消費期限切れなどの食品を出さないなど、食品を捨てないようにしている」(40.6%)、「壊れにくく、長持ちする製品を選ぶ」(38.6%)、「壊れたものは修理して何度も使う」(36.8%)などの順となっている。

前回の調査結果(平成 17 年 9 月調査)と比較して見ると、「詰め替え製品をよく使う」(55.0%→63.3%)、「レジ袋をもらわないようにしたり(買い物袋を持参する)、簡易包装を店に求めている」(31.9%→62.0%)、「すぐに流行遅れになったり飽きたりしそうな不要なものは買わない」(36.9%→43.6%)、「壊れにくく、長持ちする製品を選ぶ」(31.7%→38.6%)、「壊れたものは修理して何度も使う」(29.4%→36.8%)を挙げた者の割合が上昇している。都市規模別に見ると、「詰め替え製品をよく使う」、「すぐに流行遅れになったり飽きたりしそうな不要なものは買わない」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。性別に見ると、「詰め替え製品をよく使う」、「レジ袋をもらわないようにしたり(買い物袋を持参する)、簡易包装を店に求めている」、「すぐに流行遅れになったり飽きたりしそうな不要なものは買わない」、「買いすぎ、作りすぎをせず、生ごみを少なくするなどの料理法(エコクッキング)の実践や消費期限切れなどの食品を出さないなど、食品を捨てないようにしている」を挙げ

た者の割合は女性で高くなっている。年齢別に見ると、「詰め替え製品をよく使う」を挙げた者の割合は 30 歳代、40 歳代で、「レジ袋をもらわないようにしたり(買い物袋を持参する)、簡易包装を店に求めている」を挙げた者の割合は 40 歳代で、「買いすぎ、作りすぎをせず、生ごみを少なくするなどの料理法(エコクッキング)の実践や消費期限切れなどの食品を出さないなど、食品を捨てないようにしている」を挙げた者の割合は 60 歳代、70 歳以上で、「壊れにくく、長持ちする製品を選ぶ」を挙げた者の割合は 50 歳代で、「壊れたものは修理して何度も使う」を挙げた者の割合は 60 歳代で、それぞれ高くなっている。

(5) 再利用や再生利用のためにやっていること

日頃、ごみや、一度使ったものが再利用、再生利用がされやすいように、やっていることはあるか聞いたところ、「家庭で出たごみはきちんと種類ごとに分別し、定められた場所に出している」を挙げた者の割合が 84.1%と最も高く、以下、「リサイクルしやすいように、資源として回収されるびんなどは洗っている」(68.9%)、「トレイや牛乳パックなどの店頭回収に協力している」(48.5%)、「古着を雑巾とするなど、不要になったものでも他の目的で使用する」(47.7%)などの順となっている。

前回の調査結果(平成 17 年 9 月調査)と比較して見ると、「リサイクルしやすいように、資源として回収されるびんなどは洗っている」(63.9%→68.9%)、「古着を雑巾とするなど、不要になったものでも他の目的で使用する」(41.9%→47.7%)を挙げた者の割合が上昇している。都市規模別に見ると、「トレイや牛乳パックなどの店頭回収に協力している」、「古着を雑巾とするなど、不要になったものでも他の目的で使用する」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。性別に見ると、「家庭で出たごみはきちんと種類ごとに分別して、定められた場所に出している」、「リサイクルしやすいように、資源として回収されるびんなどは洗っている」、「トレイや牛乳パックなどの店頭回収に協力している」、「古着を雑巾とするなど、不要になったものでも他の目的で使用する」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。年齢別に見ると、「家庭で出たごみはきちんと種類ごとに分別して、定められた場所に出している」、「トレイや牛乳パックなどの店頭回収に協力している」を挙げた者の割合は 40 歳代、50 歳代で、「リサイクルしやすいように、資源として回収されるびんなどは洗っている」を挙げた者の割合は 40 歳代、60 歳代で、それぞれ高くなっている。

次ページへ続く...

(6) 環境にやさしい製品の購入(グリーン購入)の意識

製品等を購入する際に、その製品の素材に再生された原料が用いられていたり、不要になった後リサイクルがしやすいなど、環境に優しい製品を買うことについて、どれくらい意識しているか聞いたところ、「意識している」とする者の割合が81.8%、「いつも意識している」11.1%+「概ね意識している」18.1%+「多少意識している」52.6%、「まったく意識していない」と答えた者の割合が17.4%となっている。前回の調査結果(平成13年7月調査)と比較して見ると、「まったく意識していない」(14.0%→17.4%)と答えた者の割合が上昇している。都市規模別に見ると、「まったく意識していない」と答えた者の割合は町村で高くなっている。性別に見ると、「意識している」とする者の割合は女性で、「まったく意識していない」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。年齢別に見ると、「意識している」とする者の割合は50歳代、60歳代で、「まったく意識していない」と答えた者の割合は20歳代、30歳代で、それぞれ高くなっている。

(7) 循環型社会の形成についての意識

大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会から脱却し、循環型社会を形成する施策を進めていくことについて、どのように思うか聞いたところ、「現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)を落とすことであり、循環型社会への移行は受け入れられない」と答えた者の割合が1.8%、「現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)を落とさず、大量生産、大量消費は維持しながら、廃棄物の再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)を積極的に進めるなど、できる部分から循環型社会に移行すべきである」と答えた者の割合が39.1%、「廃棄物の処理場や天然資源がなくなってくるのであれば、現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)が多少落ちることになっても、循環型社会への移行はやむを得ない」と答えた者の割合が38.1%、「現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)が落ちることになっても、循環型社会に移行すべきである」と答えた者の割合が14.8%となっている。性別に見ると、「現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)が落ちることになっても、循環型社会に移行すべきである」と答えた者の割合は男性で高くなっている。年齢別に見ると、「現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)を落とさず、大量生産、大量消費は維持しながら、廃棄物の再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)を積極的に進めるなど、できる部分から循環型社会に移行すべきである」と答えた者の割合は20歳代、30歳代で、「廃棄物の処理場や天然資源がなくなってくるのであれば、現在の生活水準(物質的な豊かさや便利

さ)が多少落ちることになっても、循環型社会への移行はやむを得ない」と答えた者の割合は40歳代で、「現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)が落ちることになっても、循環型社会に移行すべきである」と答えた者の割合は60歳代で、それぞれ高くなっている。

(8) ごみの問題の具体的な認知度

ごみ問題について、どのようなことを知っているか聞いたところ、「野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題となっている」を挙げた者の割合が76.1%、「海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている」を挙げた者の割合が72.1%と高く、以下、「ごみの最終処分場の容量が残り少なくなってきた」(59.7%)、「ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対すると考えている人が多い」(55.1%)などの順となっている。都市規模別に見ると、「ごみの最終処分場の容量が残り少なくなってきた」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。性別に見ると、「海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。年齢別に見ると、「野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題となっている」、「海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている」、「ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対すると考えている人が多い」を挙げた者の割合は40歳代で、「ごみの最終処分場の容量が残り少なくなってきた」を挙げた者の割合は40歳代、50歳代で、高くなっている。

(9) 国の施策の方向性についての意識

我が国では、ごみの最終処分場の残余年数がひつ迫し、平成18年度末時点で一般廃棄物であと約15.6年、産業廃棄物であと約7.5年分の残余年数しかないといわれており、このような現状に対し、国は今後どのような対応を行う必要があると思うか聞いたところ、「リサイクルや焼却をする前に、まず、ごみの発生を減らすこと(リデュース)に取り組むべきだ」と答えた者の割合が47.0%、「ごみや不要品を、再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)することに取り組むべきだ」と答えた者の割合が35.9%、「ごみを処分するための焼却施設や最終処分場の整備に努めるべきだ」と答えた者の割合が12.9%となっている。前回の調査結果(平成17年9月調査)と比較して見ると、大きな変化は見られない。都市規模別に見ると、「ごみを処分するための焼却施設や最終処分場の整備に努めるべきだ」と答えた者の割合は小都市で高くなっている。性別に見ると、「リサイクルや焼却をする前に、まず、ごみの発生を減らすこと(リデュース)に取り組むべきだ」と答えた者の割合は女性で、「ごみを処分するための焼却施設や最終処分場の整備に努めるべきだ」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。年齢別に見ると、「リサイクルや焼却をする前に、まず、ごみの発生を減らすこと(リデュース)に取り組むべきだ」と答えた者の割合は20歳代で、「ごみや不要品を、再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)することに取り組むべきだ」と答えた者の割合は30歳代で、「ごみを処分するための焼却施設や最終処分場の整備に努めるべきだ」と答えた者の割合は70歳以上で、それぞれ高くなっている。

◆ 国の具体的な施策についての意識
国は今後「リサイクルや焼却をする前に、まず、ごみの発生を減らすこと(リデュース)に取り組むべきだ」、「ごみや不要品、再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)することに取り組むべきだ」と答えた者(1,591人)に、具体的にどのような対応を行う必要があると思うか聞いたところ、「企業の側で、長期間利用が可能となるような製品やリサイクルが容易な製品の開発を進めるための制度の構築」と答えた者の割合が29.7%、「ごみを減らす工夫など、循環型社会の構築に向けて私たちができる行動に関する情報提供」と答えた者の割合が28.2%、「製品の製造等に使用される原材料の減量化やリサイクルの高度化など技術開発の促進」と答えた者の割合が13.5%、「再使用の推進やリサイクル品の使用を促進するためのポイント制度などの経済的な手法の導入」と答えた者の割合が12.1%、「廃棄物に関する現状等に関する情報提供」と答えた者の割合が7.1%、「修理業やレンタル業など循環ビジネスへの支援」と答えた者の割合が6.6%となっている。性別に見ると、「ごみを減らす工夫など、循環型社会の構築に向けて私たちができる行動に関する情報提供」と答えた者の割合は女性で、「製品の製造等に使用される原材料の減量化やリサイクルの高度化など技術開発の促進」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

◆ 国の具体的な施策についての意識

次号へ続く・・・

次号では、環境問題のもう一つのテーマである、「自然共生社会に関する意識」について、「自然に関する関心」からはじまり、「生物多様性」について、言葉の認知度、国家戦略の認知度、条約締結国会議の認知度、生物多様性の保全の取組、生物多様性に配慮した生活のための取組、更に、生物多様性に配慮した企業活動への意識—に関する調査結果を紹介します。



日臨技認定センター お知らせコーナー!

認定指定講習会、認定試験など認定に関するお知らせコーナーです。詳細はホームページをご覧ください。

◇ 認定心電検査技師認定試験、認定一般検査技師認定試験 終了

認定心電検査技師認定試験：平成 21 年 10 月 25 日(日)、受験者数は 164 名<前年比 45 名増加>。

認定一般検査技師認定試験：平成 21 年 11 月 15 日(日)、受験者数は 98 名。

合格者発表は、いずれも、平成 22 年 1 月末から 2 月初め頃となる予定である。

認定臨床染色体遺伝子検査師認定試験：平成 21 年 12 月 6 日(日)、<会場：日臨技会館>で実施予定。

◇ 認定一般検査技師認定資格更新 指定講習会

- 1) 主 催：高知県臨床検査技師会
日 時：平成 21 年 12 月 12 日(土)12:00
会 場：高知学園短期大学
- 2) 主 催：鹿児島県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 1 月 31 日(日)8:30
会 場：鹿児島大学医学部歯学部附属病院
- 3) 主 催：滋賀県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 2 月 14 日(日)9:00
会 場：アヤハレークサイドホテル
- 4) 主 催：和歌山県臨床衛生検査技師会
日 時：平成 22 年 5 月 21 日(金)16:00
会 場：神戸国際会議場 国際会議室
- 5) 主 催：京都府臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 2 月 13 日(土)9:00
会 場：キャンパスプラザ京都
- 6) 主 催：岡山県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 2 月 28 日(日)9:00
会 場：川崎医療短期大学
- 7) 主 催：中部地区臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 3 月 20 日(土)11:30・21 日(日)9:20
会 場：三重大学医学部

研修会のお知らせ!

平成 21 年度 NST 並びに CRC 研修会を下記日程にて開催します。詳細は、ホームページ、医学検査 1 月号に掲載いたしますので、ご覧ください。

◇ 日臨技 NST 研修会

日 時：平成 22 年 3 月 7 日(日)
会 場：近畿地区（現在大阪府を予定）
内 容：実践を兼ねたロールプレイを実施致します。

◇ 日臨技 CRC 研修会

日 時：平成 22 年 3 月 20 日～22 日
会 場：日本臨床検査技師会館
内 容：これから CRC を始める方、認定 CRC を目指す方のためのビギナー講習会です。
会員優先ですが、定員に満たないときは、他職種の方参加可能です。

平成 21 年度 各地区学会の開催

- ◆ 第 46 回関東甲信地区医学検査学会
日 程：平成 22 年 2 月 6 日(土)～7 日(日)
会 場：幕張メッセ（千葉県千葉市）

編集室

- ◆ 国際宇宙ステーション(ISS)に“メダカの学校”をつくるそうです。これは、宇宙滞在による人への健康影響を調査する目的で ISS の日本実験棟「きぼう」で、メダカを 3 カ月間飼育するものです。発案者の一人である東京大学特任教授の浅島先生は、「メダカは脊椎動物で、人間と共通する部分も多く将来の宇宙開発に役立つ」としています。この「宇宙メダカコンソーシアム」は東京大学、宇宙航空研究開発機構(JAXA)など約 20 研究機関が参画しています。技師会もこのような将来に向けての夢を語る研究が必要でしょう。
- ◆ 地球外には、脱水生命状態の生命体が飛びかっているかもしれませんよ。動植物の組織は一般的に 60~80%が水です。人間は体内水分の 14%を失うと…**the end**…です。しかし、地球上には固有の進化によって、体内の 95%以上の水分を失っても、回復する生物がいます。アフリカに生息するヌムリユスリカは小さな水たまりに生息しますが、乾季には乾燥した状態で雨季を待ちます。水がたまると再び発育します。乾燥状態の幼虫は 100 度の高温でもマイナス 270 度の低温でも死滅しません。17 年度に生き返った記録もあり、これを、「極限環境の生命」の著者である D・A・ワートンは生きてもいない、死んでもいない状態であるとし、脱水生命状態と定義しました。
- ◆ 植物はこれ以上です。2000 年以上も地下に眠っていたハスの種子を発芽、開花させたのは植物学者の大賀一郎博士です。脱水生命状態では老化も進行しないとされています。みずみずしいお肌は若さを保ちます…と言いますが、乾燥肌は老化を止めるかもしれません…???

- ◆ 地球上の生物は海から誕生したと考えられてきました。海から陸上に進出した生物は「乾燥」した環境でも生きられるように進化したようです。深海に住む生物は進化せず、時間だけを食べてきました。最近、生きた化石と言われるシーラカンスの稚魚の姿を撮影した報道がありましたが、さっさと陸に上がって脱水生命状態になった方が早かったかもしれません。
- ◆ このように考えると、以前から論議の的になっている「地球外生命」がいらない方が不思議です。最近では、惑星をもつ恒星は珍しくなく、太陽型恒星の 20 個の一つは惑星を持っています。銀河系内には約 2000 億個の恒星が存在します。この恒星が誕生する時にも、宇宙の塵(DNA)が飛び交っていたはずで、今、生命体の存在する一番の可能性(星)は火星で、水の痕跡も見つかっています。火星に赴き、雨を降らせては…? 脱水生命状態の生物が蘇るかもしれません。
- ◆ 今月号は、盛りだくさんで、環境問題に関する意識調査報告も掲載しています。日常生活には特に関係ないと思われがちですが将来的には重要な課題です。
- ◆ 宇宙、地球、生命体等の話は理解が難しい面がありますが、“偶然性”と“必然性”の関係が成り立っていることにお気づきですか。関係が成り立つといっても、必然性があつての偶然性と理解することが重要です。
何事も、必然性があつての事です。2009 年も終わりです。

来年は、2010 年の寅年です、必然的に…



【編集室】